



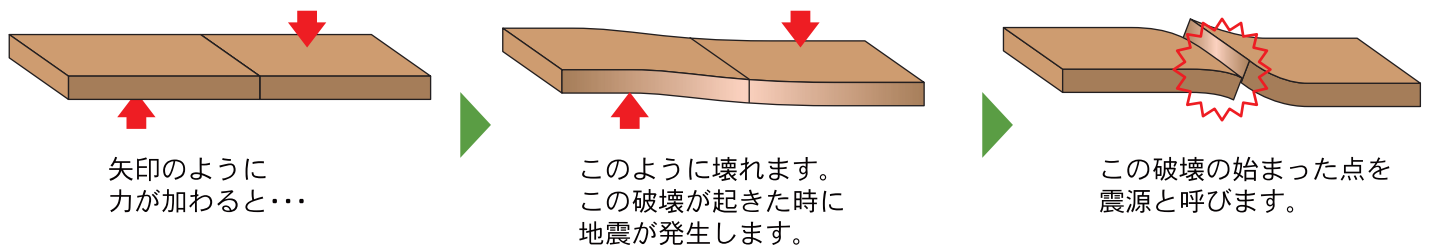
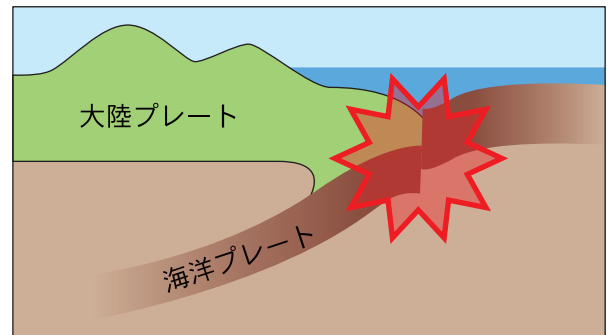
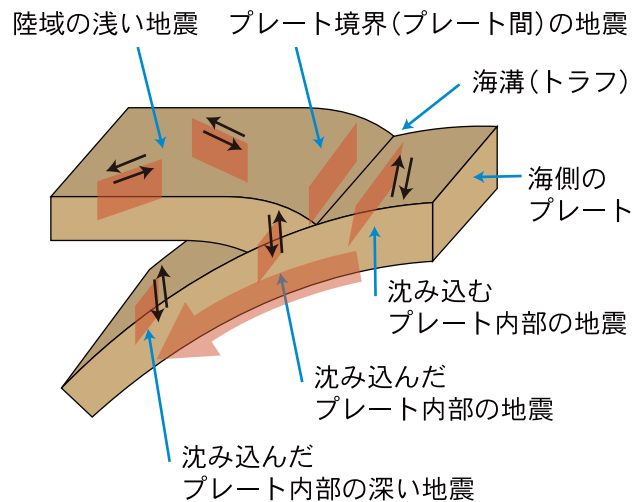
地震の仕組みを知ろう

地球の表面は「プレート」と呼ばれる10数枚の固い岩盤で覆われています。このプレートはそれぞれが1年に0～10センチメートル程の速さで、多方向に動いていて、プレートがぶつかり合うところでは、一方のプレートが他のプレートの下に沈み込み、様々な力がプレートにかかります。

プレートが沈み込むときに、陸側のプレートを一緒に引きずり込むことでひずみがたまり、このひずみに耐えきれなくなったときに陸側のプレートが跳ね上がることで地震が発生します。これを「プレート境界の地震」といいます。

1923年の関東地震(関東大震災)、1944年の東南海地震、1946年の南海地震、2003年の十勝沖地震などがこのタイプの地震です。

また、プレートの内でもさまざまな力がかかることによって、プレート内の弱い部分が破壊され地震が発生します。



日本はなぜ地震が多いのか？

日本列島はユーラシア、太平洋、北アメリカ、フィリピン海の各プレートに取り囲まれていて、これらのプレート境界付近や内陸の直下で多数の地震が発生しています。

マグニチュード6以下の地震の場合、世界の約20%が日本周辺で発生しています。まさに世界有数の地震国です。